

半

半は、**半**で、“物”という意味の牛と八(分かつという意味の部首)との会意形声字です。“物(牛と勿との形声字)を真二つに分ける”という意味で、“半分”のことです。

判は、“^{かたな}リで切って半分にする”という意味の会意形声字です。音は半。昔、証書の類は、二つに切って、その一つをそれぞれが保管し、二つがぴたりと合うのを証拠としました。“真偽を判別する”という意味の“わかつ”ことです。裁判、批判。転じて“わり印”の意味から“印章”のことを判と呼ぶようになりました。

伴は、英語の“ベターハーフ”の“ハーフ”に当たります。“二人一組の半分”という意味で、**半**と**人**とでできた形声字です。“つれ”“とも”と読みます。同伴、随伴、伴奏。

袷は、“上半分だけの衣”という意味の字で、上半身に着るシャツまたはブラウスのことです。**半**と**衣**との会意形声字です。汗を吸って漏れる意味の襦と合わせると、「^{じゅばん}襦袷」になります。

畔は、“田を分ける”境界の“あぜ”が本義です。**田**と**半**との会意形声字です。転じて“さかい”の意味に用いられます。「湖畔」は、湖と陸地とのさかいの意味で、“ほとり”です。

拌は、異なった物を手で半分に分かち、それぞれ半分になったものを“まぜ合わせる”という意味です。^{コウ}交(混じる)の意味の^{コウ}攪と合わせた「^{コウハン}攪拌」という言葉があります。普通「かくはん」と読まれています。